

## 運転評価を数量化し危険度分類を行う尺度

### ■ FTDS-J とは

フロリダ大学の実証的研究に基づき、日本側研究者チームがフロリダ大学と協同で開発した日本語版の安全運転数量化尺度です。

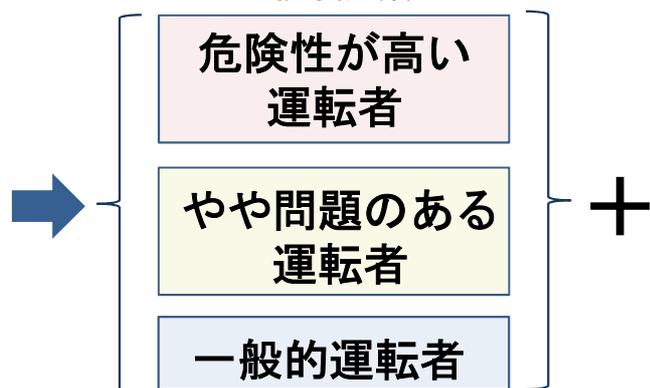
高齢運転者のご家族やご友人、運転に関する専門家の方にもご利用いただけます。この評価票で、運転者の方の54の運転技能に関する問題点をチェックすることができます。

1年に1回または運転者の方の健康状態が変わった場合に受けていただくことをおすすめします。

#### ご家族等による評価（質問紙）



#### 評価計算ツールに基づく運転の危険度分類



### ■ 評価の流れ

#### 評価申込

まずは下記連絡先へお問い合わせ下さい。  
評価票を郵送いたします。

#### 評価票に記入・返送

すべての質問にご回答のうえ、同封の返信用封筒にてご返送下さい。

#### 評価結果の算出・送付

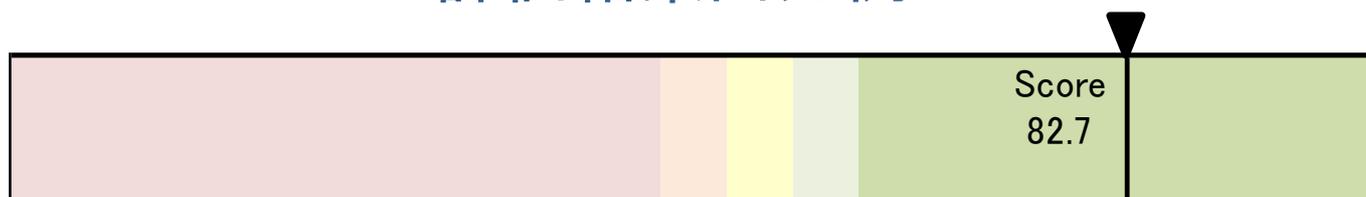
フロリダ大学の計算ツールを用いて評価結果とアドバイスを翻訳した評価レポートをお送りいたします。

**\* 評価データは厳重に管理され、研究を発表する際も個人情報公表されません**

### ■ お問い合わせ先

佐賀大学医学部 教授 堀川 悦夫  
佐賀大学医学部附属病院 動作解析・移動支援開発センター  
認知神経心理学分野 ブレイン&モビリティラボトリー  
TEL: 0952-34-2141 e-mail: ethori@med.saga-u.ac.jp

# 評価結果出力例



危険性が高い運転者

一般的運転者

## 評価結果と運転に関するアドバイス

(参考例1)

(参考例2)

(参考例3)

<p>〔一般的運転者〕 複雑な運転操作も行うことができるようです。 しかし、何らかの点で問題も見られるようです。</p> <p>1. 適切な車線での運転</p> <p>＜アドバイス＞ 現時点において、運転に重大な問題があるとは判断されませんでした。 しかし、少しでも問題があるような状況での運転は、特に慎重に運転する、避ける、または控える事が望まれます。</p>	<p>〔やや問題のある運転者〕 <u>運転者の方は運転する上で注意が必要な点</u>があるようです。</p> <p>1. 追い越し車線のない道でのRV車、トラック等大型車の追い越し 2. 信号や一時停止の標識がない場所で、複数の車線を変更しての右折</p> <p>＜アドバイス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題が見られた運転を見直しましょう</li> <li>かかりつけ医や運転に関する相談ができる方との相談をするなどをおすすめします。</li> </ul>	<p>〔危険性が高い運転者〕 <u>運転する上で複数の問題があり、直ちに対策を講じる必要があります。</u></p> <p>1. 大雨、強風、激しい雷雨の中での運転 2. 道を曲がる際、車線を越えないこと 3. 車線表示等がなくても、適切な位置で走行</p> <p>＜アドバイス＞ かかりつけ医または運転に関して相談できる方に、運転を継続して良いかどうかについて相談することをおすすめします。</p>
---	---	--

\* これらはアメリカ老年医学会 (American Geriatrics Society)のガイドラインに則った推奨事項です。

評価票の開発は、日本損害保険協会による自賠償運用益拠出事業の研究助成により実施しております。

日本側開発代表者	佐賀大学医学部 認知神経心理学分野	教授	堀川悦夫
日本側共同開発者	名古屋大学 大学院医学系研究科	講師	岩本邦弘
	名古屋大学 未来社会創造機構	特任講師	河野直子
	島根大学 人間科学部	講師	佐藤鮎美
	京都橘大学 健康科学部	教授	堀江 淳
事務局	佐賀大学 技術補佐員		峯とも子
米国側研究代表者	Sherrilene Classen, Ph.D., MPH, OTR/L, FAOTA (PI) Professor, Univ. of Florida		

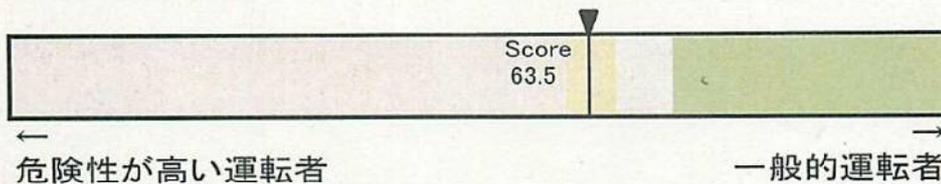
送料、評価ツールへの入力、評価結果の翻訳など運転適性評価にかかる費用につきましては、外部からの補助の有無により、軽減される場合があります(別途ご相談下さい)。



## 評価結果と運転に関するアドバイス

2019年1月に [ ] 様に評価していただいた、運転者の方 <sup>B</sup> [ ] 様

の得点は、63.5点で、**〔やや問題のある運転者〕** といえます。

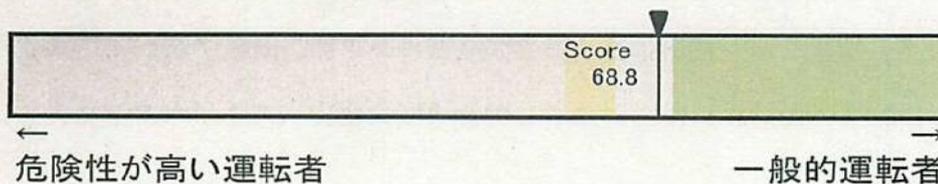


**運転者の方は運転する上で注意が必要な点**があり、気がかりな運転動作が見られるようです。例として、次のようなことが挙げられます。

1. 大雨や風を伴う激しい雷雨の中で運転すること
2. まぶしいときや太陽光が目にはいつているときに運転すること
3. 車線表示が薄い、または車線が引かれていない夜の暗い道路を走行すること

2019年1月に [ ] 様に評価していただいた、運転者の方 <sup>C</sup> [ ] 様

の得点は、68.8点で、**〔やや問題のある運転者〕** といえます。



**運転者の方は運転する上で注意が必要な点**があり、気がかりな運転動作が見られるようです。例として、次のようなことが挙げられます。

1. 追い越し車線のない道路で、RV車、トラックなどの大型車を追い越すこと
2. 大雨や風を伴う激しい雷雨の中で運転すること
3. まぶしいときや太陽光が目にはいつているときに運転すること

### <やや問題のある運転者へのアドバイス>

上記の結果について、

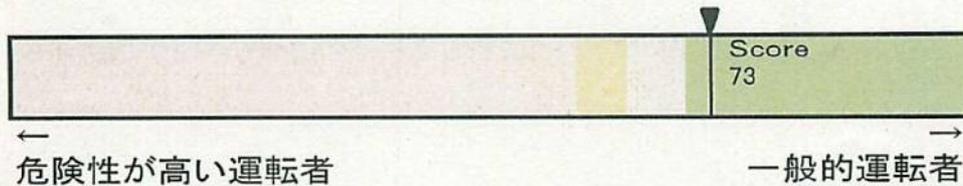
- ・上記注意点についての運転を見直す
- ・かかりつけ医や運転に関する相談ができる方との相談を試みる

ことをおすすめします。安全な運転を続けるために様々な検査や評価を受けることは、運転者の方にとって有益なものとなります。

## 評価結果と運転に関するアドバイス

2019年1月に [ ] 様に評価していただいた、運転者の方 [ ] 様

の得点は、**73**点で、**〔一般的運転者〕** といえます。



運転者の方は、複雑な運転操作も行うことができます。しかし、何らかの点で問題がみられるかもしれません。例として、次のようなことが挙げられます。

1. 大雨や風を伴う激しい雷雨の中で運転すること
2. まぶしいときや太陽光が目に入っているときに運転すること
3. 高速で走行する大都市の道路や複数のインターチェンジのある高速道路、複数の標識があるような、複雑な状況下で運転すること

### <一般的運転者へのアドバイス>

この評価票の結果、現時点において、運転者の方には運転する上での広範囲にわたる重大な問題があるとは判断されませんでした。しかし、運転者の方にとって少しでも問題があるような状況での運転は、特に慎重に運転する、避ける、または控えることが望まれます。

この評価票は診断を目的としたものではありませんが、運転者の方にとって少しでも問題があるような状況では、特に慎重に運転する、避ける、または控えるなどの対策が望まれます。また、1年に1回、あるいは運転者の方の健康状態が変わった場合に、本適性評価を受けていただくことをおすすめします。

そして、運転される際には安全運転を心がけて下さい。

※これらはアメリカ老年学会(American Geriatrics Society)のガイドラインに則った推奨事項です。

ご質問、ご不明な点がございましたら下記へご連絡をお願いします。

〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1 佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター  
認知神経心理学分野 教授 堀川悦夫

TEL: 0952-34-2141 または 2182 FAX: 0952-34-2022

e-mail: ethori@med.saga-u.ac.jp